

# QCサークル茨城地区 第6511回秋季大会 開催

2023年11月22日(水) 10:00~16:30 ザ・ヒロサワ・シティ会館



## ◆ 出場サークルならびに審査結果

SGH部門(製造・技術・品証)、JHS部門(事務・販売・サービス)

No.	会社名・サークル名	部門	審査結果
1	パンてる株式会社 茨城工場 エビフライ サークル	SGH	優秀賞
2	日立建機株式会社 パルコグループ	SGH	大会賞
3	株式会社日立ハイテク 那珂地区 いたうぐみサークル	JHS	優秀賞
4	株式会社小松製作所 茨城工場 テンキャストサークル	JHS	茨城県知事賞 JHS部門 茨城県議会議長賞
5	株式会社スミハツ スピードクリップ サークル	SGH	茨城県経営者協会会長賞
6	日産自動車株式会社 いわき工場 ひんかんサークル	SGH	茨城県知事賞 SGH部門
7	株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス FWまえ☆まえ グループ	JHS	優秀賞
8	日立Astemo株式会社 佐和工場 Future サークル	SGH	大会賞

## ◆ 関東支部第6528回改善事例チャンピオン大会(2024.2.9)出場サークル決定!

総合部門	日産自動車株式会社 いわき工場 ひんかんサークル	秋季大会県知事賞 受賞
JHS部門	株式会社小松製作所 茨城工場 スマイルファクトリーサークル	夏季大会県知事賞 受賞

### 表彰委員長総評 日立建機株式会社 薄井 健次

QCサークル茨城地区第6511回秋季大会で発表された8サークルの皆様、また、会場で聴講された皆様、大変お疲れ様でした。良かった点として、1点目は「活動のプロセス」についてです。

今回発表頂いた多くのサークル・グループのみなさんは、改善の手順を意識しながら活動を進められており、限られた活動時間の中で目標を達成しておりました。3現主義でデータを正確にとり、先入観や憶測で判断せず、事実を数値化し、グラフや手法などを活用しながら解析を行ない、目標を設定し、最適な対策を導き出した素晴らしい活動でした。特に改善の手順として、「要因の解析」が素晴らしい内容だったと感じました。要因の解析は、想定された要因の事実確認を行い、要因を確定させ科学的根拠をきちんと掴むということが非常に重要になります。この検証がしっかりできていないと、対策しても効果が出ない、結果モチベーションが下がり活動が活性化しなくなることに繋がってしまいますので、今後もこのステップの重要性を意識しながら、活動を進めてください。

2点目については「無形効果」についてです。

QCサークル活動は、職場の問題や課題の解決だけでなく、人の成長という目的があります。本日発表頂いた全てのサークルがレーダーチャート、ゾーン評価を活用して、1つのテーマを終えるごとに、無形効果を確認しておりました。

サークルやメンバーの良い所、悪い所の「見える化」が重要です。その「見える化」された内容を元に、どのように成長に繋げていくかを話し合い、自己啓発や相互啓発を行うことで成長につながります。これが運営の工夫だと思えますし、アピールポイントの一つになると思います。

欲をいえばについては「水平展開」です。

自分たちが解決した問題点に対して、他職場でも同じ悩みをもっているところがあるかもしれません。同じ悩みを持っている職場へも横展開することで、問題解決へつながります。そうすることで会社全体に寄与されてくる内容になり、自分たちだけの効果だけではなく、もっと大きい効果となる可能性が十分ありますので、管理者・推進者に於かれましては、是非水平展開を意識した活動を進めていただければと思います。